

年収の4つの壁、税制改正でどうなる？

ーパート・アルバイトの働き控えは解消？！ー



2026年が始まりました！本年も、どうぞよろしくお願いいたします。

ところで、会社勤めの方は、昨年12月のお給料が、少し増えているなど感じた方も多いと思いますが、それは、2025年の所得税の基礎控除や給与所得控除等の変更により、年末調整額が増えたことが要因と思われます。（下記表参照）

また、昨年12月に閣議決定した「令和8年度与党税制改正大綱」によると、基礎控除や給与所得控除が、2026年と2027年は、特例で以下のような控除が期待できそうですので、2026年の所得税の年収の壁は、160万円から178万円に上がり、今年の年末調整額も期待できそうですね。

基礎控除・給与所得控除（所得税・本人）

給与収入のみの場合 (～ 2 0 2 4 年		2 0 2 5 年		2 0 2 6 年・2 7 年 (改正後)		
	基礎控除	給与所得控除	基礎控除	給与所得控除	基礎控除	給与所得控除	
～約 1 9 0 万円以下	4 8 万円	5 5 ～ 1 9 5 万円	9 5 万円	6 5 万円	1 0 4 万円	7 4 万円	
～約 2 0 0 万円以下			6 5 ～ 1 9 5 万円	8 8 万円		6 5 ～ 1 9 5 万円	7 4 ～ 1 9 5 万円
～約 4 7 5 万円以下							
～約 6 6 5 万円以下							
～ 8 5 0 万円以下							
～ 2 5 4 5 万円以下			6 3 万円		6 7 万円		
			5 8 万円		6 2 万円		
2 5 4 5 万円超	48 万円～ 0 円		4 8 万円～ 0 円	1 9 5 万円	4 8 万円～ 0 円	1 9 5 万円	

では、今回の改正は、パート・アルバイトの人の働き控え解消となるのでしょうか？ 残念ながら、今回の改正では、住民税の基礎控除（43万円）に変更予定はないようですので、10%の住民税は、年収が約119万円（給与所得控除9万円アップによる）を超えるとかかってきます。また、年収の壁には、税金の壁と社会保険の壁の2つの壁があるのですが、社会保険の変更も今回はないようです。

1. 税金の壁

所得税の年収の壁の推移

103万円の壁	～2024年	基礎控除	48万円	+	給与所得控除	55万円	=	103万円
160万円の壁	2025年	基礎控除	95万円	+	給与所得控除	65万円	=	160万円
178万円の壁	2026年	基礎控除	104万円	+	給与所得控除	74万円	=	178万円



住民税の年収の壁の推移（市によって多少差あり）

100万円の壁	2024年
110万円の壁	2025年
119万円の壁	2026年